

デザイン

『北欧の、おとぎばなしと雑貨たち』
斎藤志乃著 ピエ・ブックス 2009

フィンランドのムーミン、スウェーデンのピッピ、デンマークのアンデルセン...。北欧には童話の世界が自然に広がっているんだろうなあ、と思わせてくれる1冊。おしゃれな雑貨がたっぷり紹介されています。



『北欧デザインをめぐる旅』
萩原健太郎著 ギャップ・ジャパン 2008

ミュージアムやカフェ、ホテルなど、北欧にはすてきなデザインがたくさん。ストックホルム市立図書館や、「かもめ食堂」の舞台となったカフェ、アアルト・ハウスにも行ってみたいし...。見ているだけで行きたいところや欲しいものがあふれてきそうな本です。

『北欧のかわいいデザインたち』
pieni kauppa著 ピエ・ブックス 2005

食品パッケージやショップ袋、文房具や古本に至るまで、おもしろいデザインがいっぱい！暮らしやすくなる工夫や、人や環境へのさりげない優しさがたまりません。北欧と一口に言っても、国ごとの違いもあるもの。日常にひそむかわいさを見つけてみてください



『北欧の挿絵とおとぎ話の世界』
海野弘解説 監修
パイインターナショナル 2015

お姫さまや妖精トロールが描かれた、美しく繊細であたたかな北欧の挿絵たち。色遣いやタッチに自然との距離の近さを感じます。おとぎ話との相性も抜群で、ずっと眺めていたくなります。

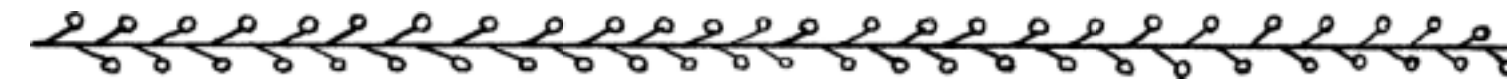


『あたらしい教科書 北欧』
あたらしい教科書編集部編
プチグラパブリッシング 2007

なんとなく「豊かな暮らし」のイメージのある北欧。実際、どんなところなのでしょう？いま話題の“サスティナブル”にも迫る、「生活」を考えるきっかけになる1冊。

『北ヨーロッパの文字と言葉』
森信嘉著 小峰書店 2005

北欧には5つの国、8つの言葉があります。読み方や挨拶、自己紹介なんかでもできたらカッコいいですね。そのほか、ルーン文字や食べ物、気候、各国の違いなども載っています。



『かもめ食堂』
群ようこ著 幻冬舎文庫 2008

ヘルシンキの街角にある「かもめ食堂」。日本人のサチエが1人で営んでいます。なかなかお客さんが来てくれない毎日ですが、少しずつ街に馴染んできて...。日本大好きなトンミクんとのおやりとりほっこり。映画もおすすめです。



『おやゆびひめ』
ハンス・クリスチャン・アンデルセン作
リスベート・ツヴェルガー絵 B L 出版 2013
いわずとしれたアンデルセンの名作。図書館には同じ絵本の英語版もあるので、読み比べてみるのもおもしろいかもしれません。日本語版の翻訳は、江國香織さん。



北欧

はと時計 6月号
松蔭中高図書館
2020年6月15日発行
library@shoin-jhs.ac.jp
担当：高田

お出かけしづらい今、本や映画で旅行気分を味わってみるのはいかがですか？意外と私たちの生活にとけこんでいる北欧。ムーミンやマリメッコの他にも、お気に入りの「かわいい」が見つかるかもしれせん

『北欧へ行こう
ダヤンのスケッチ紀行』
池田あきこ著 中公文庫 2010

白夜のフィンランドでサウナ体験をしたり、ノルウェーの森で木を切り出すサンタさんに会ったり...！猫のダヤンと一緒に、北欧各地を旅してみませんか？

『フィンランドのごはん』
銀城康子文 農山漁村文化協会
2008

フィンランドではどんなごはんを食べているんだろう？ある一家の1日、1週間の献立、1年の行事にまつわる料理を見てみましょう。夏にはなんとザリガニパーティーも！レシピも載っているので実際につくってみるのもいいかも



ひと

『ピッピの生みの親
アストリッド・リンドグレーン』
三瓶恵子著 岩波書店 1999
インタビューで「わたしはわたし自身の中にいる子どもを喜ばせるために書いてきた」と話すリンドグレーン。どのようにしてピッピが生まれたのか、彼女の人生にせまる1冊。

『ムンクの世界 魂を叫ぶひと』
田中正之監修 平凡社
コロナ・ブックス 2018

ムンクが画家になろうと決めたのは16歳のとき。読めば名画「叫び」がもっとおもしろくなる！故郷ノルウェー・オスロを中心に、ムンクの家やアトリエ、ゆかりの地のガイドもついています。



『リサラーソン作品集
作ることは、生きること。』
木寺紀雄写真 ピエ・ブックス 2009
一度は見たことがある、あの猫ちゃん。作っているのはスウェーデンの陶芸家、リサラーソン。作品や彼女のアトリエ、暮らしも垣間見える作品集。

『ヴィルヘルム・ハマスホイ
沈黙の絵画』佐藤直樹監修
平凡社 コロナ・ブックス 2020

北欧のフェルメールとも呼ばれるハマスホイ。デンマークの人が大切にしている価値観「hygge(くつろいだ、心地よい雰囲気)」が溢れる代表作54点を収録。しんと静かな室内画が堪能できます。

おはなし

『たのしいムーミン一家』
トーベ・ヤンソン著 青い鳥文庫 2014

みんなだいすきムーミンが青い鳥文庫に登場！ムーミン谷の春。次々とおかしな事件が起こって、ムーミン一家は大騒ぎ！角野栄子先生のエッセイ付き。

『マッティは今日も憂鬱
フィンランド人の不思議』
カロリーナ・コルホネン著
方丈社 2017

フィンランド人あるあるなのに、なぜか日本人にも共感できちゃう！困惑しているマッティの表情が絶妙でとってもかわいい！2作目ではマッティが旅に出ます！

リクエスト本紹介

『つぼみ』 宮下奈都著 光文社 2017

3姉妹の長女麻子の中学～社会人までの成長を描いた『スコレNo.4』。そのスピンオフと聞いて興味をもった。『スコレNo.4』の登場人物たちが別の側面を見せてくれる3編とそれとは関係のないお話が3編、『スコレ』を読んでいようがいまいが楽しめる。今から花開く『つぼむ』たちの物語。個人的には『スコレ』末娘、紗英を主人公にした『まだまだ、』が好きかな。 M・T



中学3年生の皆さん
理科
遺伝子のレポート用
コーナーできていま
す。iPS細胞、メン
デルの伝記、遺伝子
関連図書をまとめて
います。



6月22日（月）～29日（月）宗教週間 図書館では絵本ボランティア、ブッ ク・セールを実施します。（日曜日を除く）

絵本シール貼りボランティア

長い間、戦争が続いて、子供向けの本の出版が不足しているアジアの国へ日本の絵本にその国の翻訳シールを貼っていくボランティアです。貼ってくれたあなたの名前を漢字・仮名でもアルファベットでもないその国の文字で記名します。絵本も翻訳シールも用意しています。放課後手ぶらできてください。

今年の絵本は

『あのひのこと Remember March 11, 2011』 『およぐ』
『けんかのきもち』 『とべ！ちいさいプロペラき』
『みずうみにきえた村』の5タイトルです。
ミャンマー語の翻訳シールを貼ります。



မင်္ဂလာပါ (ミンガラバ) こんにちは

ခွင့်လှာဝတ်ပါ (クウィンルッパー) すみません(丁寧)

ပြန်တွေ့ပါမယ် (ピャントェバーメー) また会いましょう

こんな文字です。かわいいでしょ？

ブックバザー

図書館で所蔵できなくなった資料や生徒・教職員から供出された資料を一冊10円以上の寄付でお分けします。昨年雑誌でほしいものがあつた人は要チェック！自分の興味のあるテーマの本がないか、ぜひ見に来て下さい。寄付先はSVAアジア子ども募金にアジアの恵まれない子どもたちに教育の機会を与える役に立ちます。

図書館からお願い

コロナウイルスが紙についたときの最長残存期間が5日といわれています。なので本を返却してから5日、検疫期間を置いています。万ーコロナウイルスがついても、それが消えてから書架にもどしていますので、ご安心下さい。

念のため、読書する前と後は必ず手を洗ってください。
本を読んでいる間の飲食は控えましょう。

先月号にも載せましたがインターネットで蔵書が検索・予約できるようになりました。

予約した日の翌日午前中にはカウンターに用意していますので、1週間以内に図書館に借りに来て下さい。

特に図書館から連絡はしません。

URLは印刷した紙面を参照してください。
松蔭の生徒・教職員以外の人には教えないで下さい。